

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1 事業の概要

事業の概要

令和4年度のシルバー事業を取り巻く環境は、前年度に続き「新型コロナウイルス感染症」(以下「新型コロナ感染症」という。)の感染拡大により、行動制限が続き、日本経済や雇用等に大きな影響を及ぼしシルバー人材センター事業においても厳しい状況となりました。また、企業における65歳までの雇用確保措置の義務化と70歳までの雇用の努力義務により、シルバーに入会する60歳代の会員が減少し、会員の平均年齢が年々上昇していることから、高齢会員に適した就業機会の確保が課題となってきています。

一方、少子高齢化の進展に伴い、将来必要な労働力人口が減少する中で、働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現を図ることが重要とされ、シルバー人材センターへの期待が益々高まっています。

芦屋市シルバー人材センター(以下「センター」という。)の令和4年度事業は、第2次中期事業計画(令和元年度～令和5年度)を基本に下記の項目を重点に会員、役員、事務局が連携し、積極的に事業の推進に取り組みました。

- ① 会員数の拡大と就業機会の確保・拡大
- ② 生活支援型訪問サービス事業及び介護予防応援事業の推進
- ③ 独自事業の推進及び高齢会員の就業機会・居場所の確保
- ④ 会員の技術・技能と接遇の向上
- ⑤ 安全就業の徹底と適正就業の推進
- ⑥ 専門委員会活動の強化

会員数の拡大については、広報啓発活動を強化するとともに入会促進強化月間を設定し会員紹介キャンペーンや土曜入会説明会を開催したほか、技能班が市民対象に講習会を開催する等会員拡大に取り組みました。また、ハローワーク西宮及び兵庫県シルバー人材センター協会(以下「兵シ協」という。)と連携しシニア世代対象に就職支援セミナーを開催し会員拡大に取り組みました。

就業機会の確保については、兵シ協と連携し高齢者活躍人材育成事業(保育補助支援講習会、マンション管理講習会)の実施、技能講習会の実施、令和2年11月に市民センター内で新規事業として立ち上げた「キッチンカフェなりひら」事業を継続実施し就業機会の確保・拡大に取り組みました。

介護予防・日常生活支援総合事業「生活支援型訪問サービス事業」については、指定事業者として継続実施し就業機会を確保することができました。

請負事業のうち公共では、昨年度新規受注した新型コロナウイルス感染症に関連した幼稚園・小学校・中学校の消毒作業、ワクチン接種会場の消毒作業のほか封入・駐車場管理業務や臨時広報の配布業務等の受注が無くなったことや潮芦屋護岸工事のため清掃作業の受注停止があったことにより、前年度より3,893万円の減額となり、前年度実績比でマイナス38.0%となりました。

民間の請負業務では、スーパー関係で派遣事業への切替契約がありましたが、新型コロナウイルス感染症に関連し契約解除となっていたスポーツ施設清掃業務の再開や新規に社会福

社法人の時間外業務を受注したこと等から前年度より1,486万円の増額となり、前年度実績比でプラス6.7%となりました。

派遣事業については、請負事業からの切替契約や社会福祉施設の配膳等業務、高齢者施設の調理補助業務等を新規契約したことから契約額は前年度より1,527万円の増額となり、前年度実績比でプラス17.4%となりました。

啓発活動については、「しるば〜たいむず」の全戸配布や「広報あしや」への広告掲載のほか、市役所北館展示コーナーを活用したシルバー事業の紹介等を継続実施しました。

「はつらつ館」玄関前広報掲示板を活用し月間スケジュールを掲載しセンター事業を広く市民及び会員に紹介しました。また、会員ボランティアによる「はつらつ館」周辺の花緑化に取り組み、芦屋市のオープンガーデンに引き続き参加しイメージアップを図りました。

高齢者介護予防応援事業「はつらつ憩サロン」は参加者が減少傾向となりましたが継続実施しました。

独自事業の推進については、事業数は30事業となりました。今年度も新規提案事業の募集を行い、1件の提案があり事業活性化委員会でヒアリングを実施しましたが事業採用にはなりませんでした。事業実績は前年度より751万円の増額となり、前年度実績比でプラス27.5%となりました。

会員の技術・技能と接遇の向上については、新入会員オリエンテーションでの接遇研修や各職群での研修のほか、会員意識向上委員会が接遇の重要性について講習会を実施しました。福祉・家事援助講習会、子育て支援ステップアップ研修会等を実施し知識・能力の向上に取り組みました。

安全就業、健康管理の徹底については、事故ゼロを目指して、毎月の安全パトロールを実施しその結果を分析し改善に取り組むとともに、「安全だより」を年3回発行し、安全意識の周知・啓発を図りました。

適正就業については、メールによる就業相談窓口の開設や適正就業ガイドライン「シルバー人材センターの案内」を活用し、新入会員及び発注者へ説明し周知徹底を図りました。

各専門委員会の活動については、令和4年度の実施計画を基本に各委員会で具体的に取り組みました。活動内容は各委員会からの報告に掲載しています。

以上のような取組を進めた結果、受託事業・独自事業の事業高は民間で新規受注や再開があった一方、公共で新型コロナウイルス感染症に関連した業務が無くなったことや工事のため受注停止などにより1,489万円減の3億9,409万円、就業延人員は6,130人減の8万9,247人となり目標値は達成できませんでした。

就業率は3.6ポイント減少し74.4%となり目標値を達成できませんでした。

派遣事業の契約額は前年度より1,527万円増の8,761万円、就業延べ人員は3,296人増の18,102人となり目標値を達成することができました。

会員数は、今年度入会者168人、退会者132人で前年度より36人増加し1,178人となり、目標値の1,170人を達成することができました。

男女比率は男性52.7%に対し女性は47.3%となり前年度より1.6ポイント女性会員比率が上昇しました。

その他の主な取り組みとしては、

昨年度会員の意識把握のため実施した「会員アンケート調査」結果を事業活性化委員会でもとめ5月に全会員に報告するとともに、改善すべき事項を各委員会及び事務局に提言しました。

センターの安定的な財政運営を図るため、国及び芦屋市から補助金の交付を受けるなど財源確保に努めるとともに効率的な事務執行に取り組みました。

令和4年度は第2次中期事業計画の4年目の取組となりました。令和4年度の進捗状況を点検・分析・評価を行い、理事会の承認を得ましたので報告します。(別掲載)

令和4年度の定時総会は3年ぶりに「芦屋市民会館大ホール(ルナ・ホール)」で開催としたほか、新型コロナウイルスの影響で中止していたシルバークフェスティバル、会員研修バスツアー、シルバークオンステージ、講習会、講座等を再開しました。

令和4年度はセンター設立35周年を迎える節目の年です。記念事業についてはシルバークフェスティバルを記念事業として開催いたしました。

以下、令和4年度実施計画に基づく事業の詳細を報告いたします。

2 数値目標に対する実績

		数値目標	実績	達成率
(1) 会員数		1,170人	1,178人	100.7%
(2) 就業率	受託・独自	85.0%	74.4%	87.5%
	派遣	100%	100.0%	100.0%
(3) 就業延人員	受託・独自	100,000人	89,247人	89.2%
	派遣	15,000人	18,102人	120.7%
(4) 事業高	受託・独自	4億2,500万円	3億9,409万円	92.7%
	派遣	7,500万円	8,761円	116.8%

3 事業実績及び就業活動

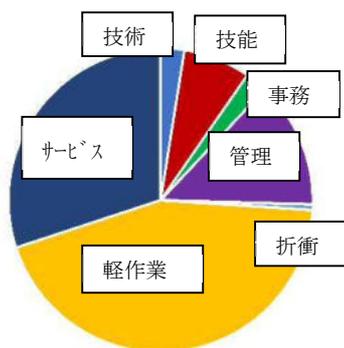
(1) 請負事業(受託事業及び独自事業)

職群	仕事の内容	事業高(単位:千円)			就業延人員(人)
		民間	公共	計	
技術	各種講座・教室指導等	9,735	96	9,831	3,525
技能	剪定・網戸張替・縫製等	28,005	119	28,124	3,308
事務	受付・集計事務・筆耕等	6,757	2,530	9,287	1,774
管理	施設・駐輪・駐車場管理等	50,807	2,220	53,027	9,682

折 衝	販売・配達業務等	849	1,476	2,325	580
軽作業	商品整理・屋内外清掃等	141,758	31,319	173,077	38,911
サービス	家事、育児支援・広報紙配布	93,374	25,044	118,418	31,467
令和4年度計(A)		331,285	62,804	394,089	89,247
令和3年度計(B)		307,244	101,732	408,976	95,377
前年度比較(A)-(B)		24,041	△38,928	△14,887	△6,130
前年度比率		107.8%	61.7%	96.4%	92.6%

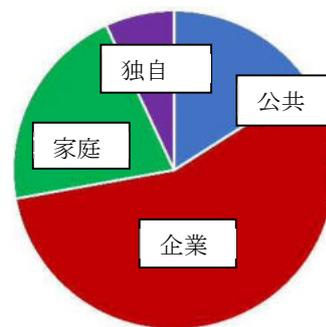
職群別比率

- ①技術 2.5%
- ②技能 7.1%
- ③事務 2.4%
- ④管理 13.5%
- ⑤折衝 0.6%
- ⑥軽作業 43.9%
- ⑦サービス 30.0%



業種別比率

- ①公共 15.9%
- ②公社 0.0%
- ③企業 56.2%
- ④家庭 21.0%
- ⑤独自 6.9%



(2) 労働者派遣事業

	派遣事業高	就業実人員	就業延人員	手数料収入
令和3年度	72,339,255 円	124 人	14,806 人	7,057,600 円
令和4年度	87,606,093 円	147 人	18,102 人	8,198,300 円
前年度比較	121.1%	118.5%	122.3%	116.2%

※ 兵シ協が派遣事業元となり当センターは芦屋市実施事務所として行う派遣事業は8年目となりました。令和4年度はスーパー関係で請負から派遣に切替契約をした事業所や新規契約の事業所も6件あり前年度より大幅に増加しました。(公益法人会計上、センター収入は取扱い手数料収入のみの計上となります)

(3) 請負事業及び派遣事業を合わせた事業実績

受託事業については、公共から新型コロナウイルス感染症に関連した業務が無くなったことや潮芦屋護岸工事のため清掃業務ができなかったこと等により前年度比94.2%、独自事業は「キッチンカフェなりひら」の実施及び各種講座等を開催し前年度比138.0%、派遣事業は前年度比121.1%となり、合計100.1%となりました。

	就業延人員	令和4年度	令和3年度
受託事業	80,548 人	366,784,282 円	389,186,448 円
独自事業	8,699 人	27,304,306 円	19,789,589 円

派遣事業	18,102 人	87,606,093 円	72,339,255 円
合計	107,349 人	481,694,681 円	481,315,292 円

(4) 独自事業詳細

令和4年度は、独自事業全体の最終実績は前年度から751万円の増額、前年度比138.0%の実績となり、就業延べ人員も前年度を805人上回り8,699人の就業機会の確保ができました。

各事業の実績は以下のとおりです。

事業名 (事業開始順)	令和4年度			令和3年度
	利用者 延人数	就業延 人員	事業実績	事業実績
着物リサイクル事業 (はつらつ工房)	—	28 人	40,200 円	44,200 円
パソコン講座 (パソコン研究会)	252 人	208 人	481,500 円	328,000 円
一時預かり事業 (子育て支援班)	492 人	894 人	1,338,600 円	1,695,300 円
リフォーム事業 (リフォーム班)	47 人	67 人	168,871 円	236,456 円
たのしい放課後教室 (教育サピエンス班)	1,322 人	1,106 人	1,570,250 円	1,218,250 円
英語クラス (E・S・S・T)	342 人	222 人	320,300 円	186,800 円
シニアライトワークポート講座 (SLS)	145 人	13 人	72,500 円	49,700 円
書道教室 (書道班)	468 人	135 人	688,500 円	464,500 円
傾聴事業 (はつらつコール)	312 人	188 人	451,555 円	503,973 円
健康表現体操	672 人	116 人	366,600 円	299,200 円
健康コミュニケーション麻雀	731 人	344 人	422,600 円	172,000 円
みんなで歌おう	757 人	70 人	253,150 円	106,900 円
着付け教室 (着付け班)	37 人	32 人	34,000 円	74,200 円
シルバー野菜市 (温石米販売含む)	—	12 人	269,815 円	155,740 円
手工芸製作販売 (花こもの)	—	75 人	76,395 円	37,450 円
はつらつ写真館 (写真班)	2 人	4 人	8,000 円	17,000 円
刃物研ぎ(刃とぎ班)	593 本	135 人	355,400 円	350,600 円
袋物等製作販売 (夢きさら)	—	34 人	33,800 円	10,850 円

子ども絵画教室	234 人	38 人	354,000 円	208,500 円
シルバーはつらつ憩サロン	129 人	115 人	141,000 円	630,200 円
小町カフェ	5,599 人	1,302 人	3,365,910 円	2,765,180 円
小町カフェ(小町カルチャー)	187 人	57 人	93,500 円	38,000 円
絵手紙教室	119 人	24 人	119,000 円	93,000 円
キーボード&ピアノ教室	717 人	525 人	2,810,500 円	1,940,000 円
小町モール(オンライン販売)(手数料)	3 人	8 人	760 円	3,940 円
キッチンカフェなりひら	15,966 人	2,827 人	13,261,160 円	7,987,600 円
〃 (チケット販売手数料)	—	—	13,440 円	46,050 円
養生気功講座	87 人	32 人	87,000 円	64,000 円
お灸とツボ講座	105 人	35 人	52,500 円	49,000 円
住環境サポートチーム講座企画	107 人	53 人	53,500 円	13,000 円
合 計	29,425 人・本	8,699 人	27,304,306 円	19,789,589 円

(5) 「キッチンカフェなりひら」事業

ア 令和4年度事業実績は次のとおり

	事業収入 (円)	事業支出 (円)	収支差引額 (円)	利用者数 (人)	就業延 人数(人)
令和3年度	7,987,600	12,126,861	△4,139,261	11,198	2,693
令和4年度	13,261,160	15,209,369	△1,948,209	15,966	2,827
前年度比較	5,273,560	3,082,508	2,191,052	4,768	136

イ 事業の廃止について

令和5年3月第8回理事会におきましてキッチンカフェなりひら事業は令和5年5月31日をもって事業の廃止を決定いたしました。事業廃止の理由は次のとおりです。

1) 令和2年11月に事業開始した市民センター内「キッチンカフェなりひら」事業は令和2年度に続き、令和3年度も400万円を超える赤字となり、会計士の意見や定時総会での質問・意見を踏まえ、事業の方向性を早急に検討するための専門委員会を立ち上げ、改善の検討等9回の会合を重ねました。

専門委員会は、根本的に経営体制を見直すことによって、事業に携わる会員の意識向上を図り、センターと現場スタッフの一体感も醸成でき、これまで欠如し

ていた「目標管理」を確実に実行することができれば、経営を軌道に乗せることは可能と判断し「事業継続にむけての改善策と条件」を提言し、この条件をクリアすることを前提として事業の継続を答申しました。

- 2) 9月第4回理事会では「事業継続にむけての改善策と条件」を着実に実行するため、理事会及び事業運営部会が事業を統括し、予算の見直し、目標管理体制の構築等、計画的かつ効率的な事業運営を行うという条件のもと、「なりひら事業」の継続が承認され、四半期毎に実績の分析と今後の継続の可否を判断する審査を事業運営部会で行い、赤字がある場合は理事会で事業継続について再検討を行うこととしました。
- 3) 9月～11月の四半期（3月間）の事業収益では7月に定食・カレー等、8月にコーヒー等の値上げ、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた市民センターの利用者が回復傾向にあること、なりひらでのイベントや期間限定メニューの実施により、前年度より1.5倍以上の月平均120万円を超える売り上げとなり、家賃分を除き約7万2千円の黒字となりました。

12月第7回理事会で就業スタッフの更なる確保及び次世代のリーダーの育成を早急に検討することを前提に「なりひら事業」の事業継続が承認されました。
- 4) 12月～令和5年2月の四半期（3月間）の運営状況は家賃を除き19万5千円の赤字となりました。令和4年度の運営状況は市民センターの利用者も増加してきたことや、全メニューの値上げ、運営体制の見直し、仕入れ先の工夫や就業スタッフの配置を見直すなど経費の節減に努力し9月以降は比較的バランスの取れた運営に近づいてきましたが、光熱水費は令和4年4月時点より約1.3倍となるなど光熱水費や原材料費の著しい物価高騰を受け非常に厳しい状況が続き、令和4年度の収支は195万円の赤字となっています。
- 5) 料金の値上げについても7月、8月に値上げを行っており、市民センター内の運営を考えると近々での再度の値上げも難しい状況です。事業支出における人件費は4月時点の53.8%と比較すると令和5年2月は44.7%と就業スタッフの努力によって大幅に改善していますが、更なる改善が事業継続の最重要ポイントとなります。「なりひら事業」の令和4年度の就業延人数は2,596人（2月末時点）と当初計画を超える就業の場の確保となり、地域貢献としても利用者から好評価をいただくようになり、センター事業のPRとなる事業となっていますが、2月末での収支では当初見込んでいた555万円を大幅に超過し1,100万円（設備・什器等初期費用を含む。）を超える累積赤字となっています。今後も光熱水費や原材料費等の高騰は続く想定され、収支の均衡を図ることは難しく赤字が続くものと想定されます。
- 6) 事業開始当初の計画では令和2年度から4年度までは約550万円の赤字を抱えるものの、5年度から黒字化し、6年度は約150万円の黒字が見込まれ生じた赤字も9年度途中には清算できるという中期見込みを立てていました。しかし、赤字の増加は事業開始当初から生じており、令和3年7月には当時の運営会議委員長から今後への提言がありましたが、残念ながら運営体制の見直しには至っていません。令和4年度に入り運営体制等の見直しを行い、就業スタッフ等の日頃の努力が数値に現れてきました。新型コロナウイルス感染症が5類指定となるなど今後市民センターの利用者の更なる増加も見込まれますが、光熱水費や原材料費等の物

価高騰も続くと予想され、経費縮減のために更なる人件費等の抑制は避けられず、就業スタッフに大きな負担増を強いることとなるばかりか新たな就業スタッフの確保が更に困難となります。

センター事業全体でも令和3年度は約190万円の赤字が生じ、配分金等の支払いのために取り崩した資金約850万円も戻せておらず実質的には1,000万円以上の赤字となっていること、今年度の中間決算では昨年度よりも厳しい決算となっていること等の状況を踏まえ、誠に残念ですが、令和5年5月末をもって事業を廃止するほかないことを3月第8回理事会で決定しました。

ウ 専門委員会

1) メンバー

副理事長、常務理事、理事3名、オブザーバー監事2名、事務局

2) 審議事項

	開催日	主な内容
第1回	6月6日	現在までの運営状況確認、今後の進め方
第2回	6月20日	現状問題点の確認と改善事項
第3回	6月29日	改善項目一覧表、現場への提言事項
第4回	7月12日	6月営業実績の状況分析、接客問題
第5回	7月19日	改善項目の詳細審議 (メニュー、仕入先、作業効率化等)
第6回	7月26日	業務体制改善案、直近の改善施策 他
第7回	8月9日	7月営業実績の状況分析、棚卸状況 他
第8回	8月16日	今後の事業継続可否答申案、条件 他
第9回	8月23日	答申案、付属資料の最終まとめ

エ 運営会議

1) メンバー

副理事長、常務理事、理事3名、なりひら主任、班長2名、オブザーバー監事2名、事務局

2) 審議事項

	開催日	主な内容
第1回	9月13日	事業実施要綱の全部改正
第2回	9月20日	〃
第3回	10月11日	9月分の収支分析 他
第4回	25日	〃
第5回	11月22日	10月分の収支分析 他
第6回	12月20日	11月分の収支状況、9月～11月期事業収支及び理事会への報告 他
第7回	1月17日	12月分の収支分析、就業会員の確保 他
第8回	2月21日	1月分の収支分析 他
第9回	3月14日	2月分の収支分析、12月～2月期事業収支及び理事会への報告 他

(6) 「小町カフェ」事業

高齢者等の居場所づくり「小町カフェ」は6年目の取り組みとなり、壁面ギャラリー、小町サロンを開催する等利用者の拡大に努めました。令和4年度の事業実績は次のとおりです。

	事業収入 (円)	事業支出 (円)	収支差引額 (円)	利用者数 (人)	就業延 人数(人)
令和3年度	2,765,180	4,456,524	△1,691,344	4,513	1,385
令和4年度	3,365,910	4,825,267	△1,459,357	5,599	1,302
前年度比較	600,730	368,743	231,987	1,086	△83

(7) 介護予防・日常生活支援総合事業（別掲）

芦屋市の指定事業者として参入した生活支援型訪問サービスは6年目となり、前年度比86.1%の実績となりました。

事業年度	受託件数	就業延人員	事業実績
令和3年度	727件	2,935人	6,590,814円
令和4年度	646件	2,524人	5,675,561円

4 会員の登録状況

(1) 入会説明会の開催

入会希望者に対し、シルバー人材センターの理念、就業システム、センターの現状等の説明会を毎月開催しました。9月及び2月は土曜日にも実施しました。

	令和4年度	令和3年度
入会説明会出席者	197人	178人
出席者の入会率	85.3%	75.8%

(2) 会員の入退会等

ア 入会及び退会

入会者は昨年度より33名多い168人の入会があり、退会者は25名多い132名の退会があり、最終的に36名の増加となりました。女性比率は47.3%となり前年度より1.6ポイント比率を伸ばしました。また、令和4年3月に施行した「プラチナ会員制度」に移行した登録会員が30名ありました。

	令和4年度末	入会者	退会者	令和3年度末
男	621人	69人	68人	620人
女	557人	99人	64人	522人
計	1,178人	168人	132人	1,142人

イ 入会動機及び退会理由

入会動機では健康維持、社会参加、退会の理由では病気、加齢を理由にされた

会員の割合が昨年同様多くなっています。

入会動機		退会の理由	
健康維持・増進	27.4%	病気	25.8%
生きがい、社会参加	41.7%	加齢	12.1%
時間的余裕	16.7%	就業機会・希望なし	8.3%
経済的理由	7.1%	家庭の事情（介護等）	7.6%
仲間づくり	4.1%	他所就業・就職	6.8%
その他	3.0%	その他・転居・未納等	39.4%

ウ 在会期間別

(単位：人)

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 4年未満	4年以上 6年未満	6年以上 8年未満	8年以上 10年未満	10年以上
男	66	48	81	69	82	63	212
女	91	64	83	51	62	60	146
計	157	112	164	120	144	123	358

エ 年齢別会員数

(単位：人)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	平均年齢
男	16	76	200	197	132	75.5歳
女	43	103	175	140	96	73.9歳
計	59	179	375	337	228	74.8歳

オ 年齢別就業率

(単位：%)

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	全体
男	56.3	60.5	74.5	81.7	87.9	79.7
女	60.5	66.0	66.3	72.1	72.9	68.4
計	59.3	71.5	70.7	77.7	81.6	74.4

5 事業の普及啓発及び就業開拓

シルバー事業の周知及び就業機会の拡大のために、以下の活動をしました。

- (1) 広くシルバー事業を紹介するために、宣伝広告の掲載等を行いました。センター財政が悪化しているため広報宣伝内容の見直しを行いました。
 - ① 「広報あしや」に9月、事業活動に合わせた内容を掲載
 - ② 芦屋オープンガーデンに広告掲載
 - ③ 茶屋之町商工案内地図看板（どこねっと）に「はつらつ館」を掲示
- (2) 会報「はつらつ芦屋」第34号・第35号を発行し、会員及び関係機関に配布しました。
- (3) ホームページを毎月更新し、広くセンターの事業活動をPRするために活用しました。
- (4) センター広報紙「しるば～たいむず」第23・24号を発行し、市内全世帯に配布しました。
- (5) 全シ協の機関誌「月刊シルバー人材センター」を購入し、行政機関等の窓口に置いてシルバー事業をPRしました。
- (6) 「事務局だより」を毎月（第256号～第267号）発行し、センターの活動及び情報

等を会員及び関連団体に提供しました。

- (7) 8月23日に芦屋市長及び市議会議長・副議長に直接面会し、シルバー事業のより一層の支援と助成及びインボイス制度導入に対する支援を要請しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し小人数（役員2人事務局1人）となりました。
- (8) 9月9日から22日まで、市役所北館展示コーナーにおいて「シルバーってええとこやな！」と題して、センターの活動紹介のパネル展を開催。期間中233人の来場がありました。
- (9) センターの宣伝及びイメージアップのため、花ボランティア会員が「はつらつ館」周辺に花緑化を行うと共に「岩ヶ平公園のバラ園」の2か所で芦屋市主催のオープンガーデンへ参加しました。
- (10) 芦屋市広報番組あしやトライあぐる令和4年12月（後半）で特集「60歳を超えても元気はつらつ～シルバー人材センター～」としてまっぼっくり、キッチンカフェなりひらなどの活動が紹介されました。
- (11) 介護施設及び関連施設に就業開拓を行うため、国の補助金を活用し、介護プランナーを配置して就業開拓に取り組みました。

6 組織活動

(1) 定時総会

開催日・場所・出席者数	主 な 議 題
令和4年5月26日（木） 芦屋市民会館大ホール （ルナ・ホール） 出席会員数795人 （委任状出席619人を含む） ※総会当日会員総数1,141人	○令和3年度収支補正予算について ○令和3年度事業報告について ○第2次中期事業計画の令和3年度進捗状況 検証の報告について ○令和3年度収支決算、監査報告について ○令和4年度事業計画、収支予算、資金調達及 び設備投資の見込みについて ○特別会員に承認について ○役員（理事及び監事）の選任について

(2) 理事会

会議開催日	主 な 協 議 内 容
第1回 4月28日	○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について ○令和3年度収支補正予算(第2号)について（専決報告） ○令和4年度定時総会の開催について ○令和3年度事業報告及び収支決算報告について ○被表彰者の決定について ○第2次中期事業計画の進捗状況検証の報告について ○特別会員の承認について ○理事及び監事の承認について
第2回 5月26日	○理事長、副理事長、常務理事の選定について
第3回 6月24日	○事務局職員の採用について ○事務局職員就業規程の一部改正について

第4回	9月5日	○キッチンカフェなりひら事業の継続について
第5回	9月30日	○キッチンカフェなりひら事業実施要綱の全部改正について ○事務局職員就業規程の一部改正について ○事務局臨時職員の就業等に係る取扱要綱の一部改正について
第6回	10月28日	○理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について ○令和4年度上半期の事業及び収支報告について 令和4年度中間監査について ○令和4年度収支補正予算（その1）について
第7回	12月23日	○キッチンカフェなりひらの事業運営について ○事務局職員給与規程の一部改正について ○事務局嘱託職員の就業等に係る取扱要綱の一部改正について ○契約金及び事務費に関する規程の一部改正について ○発注者から徴収する事務費の見直しについて ○センター会費の納入方法について ○第3次中期事業計画策定について
第8回	3月11日	○キッチンカフェなりひらの事業運営について ○キッチンカフェなりひら事業の廃止について ○令和4年度事業計画について ○令和4年度収支予算について ○令和4年度資金調達及び設備投資の見込みについて ○事務局職員給与規程の一部改正について ○事務局職員の退職手当に関する規程の一部改正について ○会員立替払等事務取扱要領の制定について

(3) 部会・委員会等

ア 部会

① 総務部会（部会開催：4回）

- ・事務局職員の採用について
 - ・事務局職員就業規程の一部改正について
 - ・キッチンカフェなりひら事業実施要綱の全部改正について
 - ・事務局臨時職員の就業等に係る取扱い要綱の一部改正について
 - ・事務局職員給与規程の一部改正について
 - ・事務局嘱託職員の就業等に係る取扱要綱の一部改正について
 - ・契約金及び事務費に関する規程の一部改正について
 - ・事務局職員の退職手当に関する規程の一部改正について
 - ・会員立替払等取扱要領の制定について
- 以上の協議を行い理事会に諮ることを決定しました。

② 事業運営部会（部会開催：13回）

令和4年度事業計画及び第2次中期事業計画に基づいて、事業運営の具体的な

実施について協議、検討を行いました。その他に主な内容は下記のとおりとなっています。

- ・設立35周年記念事業「シルバークフェスティバル」について
- ・芦屋市長及び議長への要請行動について
- ・市役所北館展示コーナーについて
- ・最低賃金の改定に伴う配分金の見直しについて
- ・「キッチンカフェなりひら」事業運営について
- ・新入会希望者説明会について

イ 委員会

① 広報啓発委員会（委員会開催：12回）

- ・会報「はつらつ芦屋」第34号及び第35号を発行しました。
- ・全戸配布の「しるば〜たいむず」第23号及び第24号を発行し、市内全世帯に配布しました。
- ・毎月センターホームページを更新し、センターの情報発信の充実を図りました。
- ・はつらつ館玄関前の掲示板を活用し、月間スケジュールを掲示し、センター事業を広く市民、会員に紹介しました。
- ・「シルバークってええとこやな！」と題して、市役所北館展示コーナーにおいて会員活動パネル展を開催しました。

② 会員拡大委員会（委員会開催：6回）

- ・昨年より1月長い9月から12月を会員入会促進月間とし、「会員紹介キャンペーン」を実施しました。
- ・平日の説明会に参加しにくい方を対象として、9月17日（高浜町ライフサポートステーション）及び2月25日（はつらつ館）で土曜入会説明会を開催し、会員獲得に努めました。
- ・会員普及啓発活動として「会員募集」チラシを街頭配布し、会員増強及び就業開拓の普及啓発活動を4月15日（南宮町スーパー前）及び10月14日（JR芦屋駅周辺）で実施しました。
- ・入会説明会に委員が参加し体験談を話し入会の促進を図りました。
- ・退会者の抑制を図るために設置したプラチナ会員制度については令和4年度は30名の方がプラチナ会員となり退会者の抑制に繋がりました。

③ 会員意識向上委員会（委員会開催：6回）

- ・スキルアップを図るための講座の体系整備として、各講座・研修会を「大会・ベーシック講座・スキルアップ講座・自己啓発講座」の位置づけを明確にし、会員個々が計画的にスキルアップできるよう「大会・講座・研修会開催予定一

覧表」を作成し、全会員に配布しました。

- ・会員のスキルアップを図るための「接遇講座」を3回、「認知症サポーター養成講座」を3回及び「サイバー犯罪対策講座」を1回実施しました。
- ・新入会オリエンテーションに委員が参加し内容等について事務局に提言しました。
- ・センターのイメージアップを図る活動企画として、はつらつ館玄関前のプランターの維持管理、倉庫の不用品整理について事務局に提言しました。

④ 事業活性化委員会（委員会開催：6回）

- ・令和3年度に実施した会員向けアンケートの結果を分析し、業務及び環境に関して改善すべき項目をまとめ、事業運営部会で各委員会・事務局に対して改善の提言を行いました。
- ・派遣事業の推進については現状分析を行いました。
- ・独自事業を推進するため、会員から新規事業の企画提案募集を2回行った結果1件の提案があり、ヒアリングを行いました但し事業採択にはなりませんでした。
- ・地域との連携については芦屋大学との連携を模索しましたが、講座の開講は予算の関係で、またボランティア活動についても日程調整が合わず実現できませんでした。
- ・高齢者就業確保事業（厚生労働省国庫補助事業）については、介護プランナーを配置し、介護施設及び関連施設に就業開拓を行いました。

⑤ 会員活動委員会（委員会開催：8回）

- ・会員相互の連携と親睦を推進し、地域との交流を図るため、以下の内容を企画・実施しました。

実施日	内 容
4月16日	清掃ボランティアを実施 国道2号線、中央線沿いの清掃 (会員・職員36名参加)
6月7日	前期会員研修バスツアーを実施 (会員51名参加) 行先：京都比叡山延暦寺 トロッコ列車での嵯峨野散策
10月15日	清掃ボランティアを実施 国道2号線沿いの清掃 (会員・職員30名参加)
10月29日	3年ぶりに「設立35周年記念事業第3回シルバーフェスティバル」をはつらつ館全館及び南側道路において開催 (来場者数約450人) 養父市・明石市・三田市シルバーと連携を図り、広く市民にシルバー事業を紹介することができました。
11月18日	後期会員研修バスツアーを実施 (会員41名参加) 行先：滋賀県佐川美術館見学・百済寺拝観
12月17日	3年ぶりに「第4回シルバーオンステージ」を市民センター(公民館)音楽室において開催 (14組の会員が出演、来場者数106名) ※今後、シルバーオンステージは周年事業の一環となります

1月10日 ～ 2月28日	10月から手作りおもちゃの製作を始め、1月から市内保育所（9か所）にボランティア訪問の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの影響もあり6か所の保育所で子どもたちと触れ合うことができ、3か所はおもちゃの贈呈のみとなりました。
---------------------	--

・会員同好会活動報告

会員が自主的運営をしている各種同好会も活発に活動しました。

同好会名	活動回数	参加者延人数
ゴルフ同好会(ASG会)	4回	51人
囲碁同好会	11回	160人
写真同好会(デジイチ会)	15回	159人
絵画クラブ(OLIVE)	20回	66人
手芸同好会	12回	67人
はつらつサロン(ワイ・ガヤの会)	12回	98人
ビデオ散歩倶楽部	6回	31人
麻雀同好会(すずめクラブ)	24回	382人
ダーツ同好会(ASDC)	4回	27人
カラオケ同好会(ひばりクラブ)	4回	36人
将棋同好会	21回	98人
アンサンブル同好会(ど〜れ)	27回	254人
ウクレレ同好会(AGBハワイアンズ)	8回	58人
ジャズを楽しむ会(All That Jazz)	12回	75人
コーラス同好会(うたクラブエチュード)	24回	148人
コントラクトブリッジ研究会	15回	173人
マジック研究会	13回	52人
バルーン同好会	13回	85人
同好会活動実績延合計数	245回	2,020人

⑥ 安全・適正就業推進委員会（委員会開催：6回）

- ・令和4年度事業計画に基づき事故防止対策、適正就業の推進に努めました。
- ・安全パトロールでは、各就業現場において安全の確認・危険作業の注意喚起を実施しました。（11回実施）
- ・作業別安全就業基準の活用と遵守の徹底を呼びかけた他、新たな基準の作成に取り組みました。
- ・安全推進大会を11月24日に開催し46名の参加がありました。多くの会員に参加いただけるよう新たな取組として音楽演奏の時間を設けました。
- ・安全強化月間事業として自転車安全講習を7月28日に開催し28名が参加しました。
- ・健康講座（転倒リスクの予防）を2月17日に開催し25名の参加がありました。
- ・交通安全講習会（危険予知トレーニング）を3月23日に開催し11名の参加

がありました。

- ・メールによる適正就業相談を2件受け付けました。
- ・安全標語を募集し20件の応募があり、最優秀作品・優秀作品3点を選定しました。
- ・「安全適正就業だより」を7月、11月、1月の3回発行しました。

安全に関する講習等は次のとおりです

開催日	講習会名称	目的及び内容	参加人数
毎月第3火曜 (オリエンテーション)	安全・適正就業に関する講習	新入会員に対し安全就業及び安全意識の啓発・適正就業についての周知	162人
7月28日	自転車事故ストップ講習会	自転車事故の実態及び対策の徹底	28名
11月24日	安全推進大会	障害・賠償事故の実態・注意喚起及びつまずき防止のための体操講習	46名
2月17日	健康講座	転倒リスクの予防	25名
3月23日	自動車交通安全講習会	自動車就業会員の為の安全対策危険予知トレーニング	11名

・事故の報告

「事故ゼロ」を目標に取り組みましたが、傷害事故が5件（昨年11件）第三者への賠償事故は11件（前年13件）、派遣事業は2件発生しました。

会員の 傷害事故 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・就業中（企業） バイクでスリップして転倒 右肋骨骨折 ・就業中（家事） 階段で足を滑らし落下 ・就業中（焼却） 車両の荷台から降車時に転倒 左肩脱臼 ・帰宅途上（企業） 車止めで転倒 手首・腕骨折 ・就業途上（家事） 自転車で転倒。左膝打撲
第三者への 賠償事故 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・就業中（家事） ガラス製コーヒーデカンタを破損 ・就業中（独自） ポリタンクを引きずり床を破損 ・就業中（剪定） 刈払機作業中に雨樋及び柵支柱を破損 ・就業中（技能） 公用車を信号待ち車両に追突し両車両破損 ・就業中（剪定） 作業終了時に駐車車両に刈払機を当て破損 ・就業中（剪定） 切った枝を落下させ駐車場の天板を破損 ・就業中（企業） シャッター下降時に消毒スタンドを破損 ・就業中（除草） 散水ホースを鎌で破損 ・就業中（除草） 刈払機作業中に固定用ポリタンクを破損 ・就業中（家事） アイロンの切り忘れにより床と敷物を焦がす ・就業中（剪定） 屋根のゴミを清掃する際に雨樋を破損
派遣事業 傷害事故 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> ・就業中 立ち上がった際右足に痛みが発生。右膝関節前十字帯損傷 ・就業中 利用者を見守り中、利用者が倒れた際に下敷 肋骨骨折

(4) その他の活動

ア 地域班活動（活動回数：13回 会議開催：1回）

- ・令和4年度は46人体制で、毎月事務局だより等を担当地区の会員宅へ配布しました。（※地域班世話人名簿を議案書最終頁に掲載）
- ・5月に総会議案書を全会員に配布しました。

イ「女性の会」運営委員会（会議開催：6回）

- ・「芦やん小町通信」第12号及び第13号を発行し、活動を広く周知しました。
- ・7月8日にミニイベントとして「バンドネオンコンサート」を開催し59名が参加しました。
- ・9月8日に情報交換会及び交流会を開催し会員16人が参加しました。
- ・11月24日、25日に全国女性代表者会議「女性会員に期待することー必要とされる存在としてー」に参加し全国のセンターと交流・意見交換を行いました。
- ・1月28日に「第8回女性の集い」として神戸楠公連の皆さんを講師に迎え「阿波踊り」を開催し76人の参加がありました。

7 会員の知識と技能の向上

(1) 新入会員対象のオリエンテーション

開催日	内 容	参加者
毎月第3火曜日 9:30~12:00	会員の心得、就業について 接遇研修、安全・適正講習等	新入会員全員参加義務付け

(2) 会員の知識・技能の向上のために講習会を開催しました。

講習名	開催日	内 容	参加数
MANパワーチーム講習会	毎月第4火曜定期開催 (新人対象)	窓ガラス・網戸等の実技 (講師：チームメンバー)	4人
ビジネス筆耕育成講座	毎月第1・3木曜日	筆耕の育成	97人
子育て支援新人研修	5月30日、11月29日	まつぼっくり・会員の心得 子どもの発達、安全等	5人
子育て支援ステップアップ研修会	4月22日	健康講座 お灸とツボ	10人
保育補助支援講習会(兵シ協主催)	8月30日・31日	保育補助講習	10人
チャレンジ講座 (一般市民参加型)	4月22日、11月24日	障子・網戸張替	13人
会員スキルアップ講座	6月6日、10月3日、 1月18日	接遇講習会 (講師：会員意識向上委員)	49人
	8月1日、12月17日、 3月15日	認知症サポーター養成講習会	58人
	7月27日	サイバー犯罪対策講習会	13人

生活支援型訪問サービス従事者研修会（市受託事業）	6月15日・17日、10月5日・7日、1月23日・24日	サービス従事者の研修	22人
マンション管理講習会（兵シ協主催）	11月8日・9日	マンション管理の講義	8人
機械清掃講習会	7月31日	館内床・コンクリート床清掃	3人
清掃講習会（初級者対象）	2月17日	掃除の基礎講習・実習	6人
福祉・家事援助サービス講習会	3月29日	「皆が支え合う地域づくり」	18人

8 事務局活動等

(1) 情報の収集及び調査活動

事業の適正かつ効率的な運営を図るため、全シ協、兵シ協、他市センター及び関係団体と連携し事業活動や就業に関する情報の収集に努めるとともに積極的に上部組織主催の会議、研修会へ出席しました。

今年度は新型コロナ拡大防止の観点からオンラインでの会議が多くなり積極的に参加することができました。

① 関係団体の会議

開催日	内 容
4月22日	兵シ協国庫補助説明会（オンライン）
6月6日	第1回阪神ブロック会議（オンライン）
6月7日	兵シ協第1回事務局長会議
8月2日	第2回阪神ブロック会議（オンライン）
8月22日	兵シ協事務集中化会議
10月17日	兵シ協第2回事務局長会議
12月15日	兵シ協国庫補助金説明会（オンライン）
11月24日	全シ協全国女性代表者会議（東京）
・25日	
1月27日	兵シ協第3回事務局長会議
1月20日	兵シ協補助金管理説明会
2月24日	兵シ協経理研修会
3月7日	第3回阪神ブロック会議（オンライン）
3月23日	兵シ協事務集中化会議（オンライン）

② 各種研修会

開催日	内 容
6月2日	兵シ協安全・適正就業推進委員等研修
6月24日	NR I 経理セミナー（オンライン）

7月29日	兵シ協新任事務局長・役員研修
12月2日	兵シ協役員研修
8月18日 ・23日	NR I ユーザー研修（オンライン）
8月27日	兵シ協派遣実務担当者研修
9月8日	兵シ協県関係団体運営研修
9月21日	近シ協管内事務局職員研修（奈良）
11月11日	NR I ユーザー研修（オンライン）
11月14日	兵シ協簿記ステップアップ研修
12月16日	兵シ協派遣実務担当者研修
12月22日	阪神ブロック職員研修
1月25日	兵シ協派遣キャリアコンサルティング研修

③ 視察来訪

来訪日	来訪センター等	主な視察内容
10月13日	堺市シルバー人材センター	独自事業
1月17日	厚生労働省本省高齢者対策課長	独自事業
1月18日	仙台市議会	独自事業

④ 行政及び関連団体との連携

- ・シルバー事業の理解及び周知と市との連携強化のため、福祉部長及び関係所管課長、係長とセンター役職員による合同会議を3月28日に開催しました。

(2) その他

- ・兵シ協が実施する有料職業紹介事業はありませんでした。
- ・今年度も芦屋市から「芦屋市生活支援型訪問サービス従事者研修」を受託し、3回実施しました（参加者22人）。
- ・兵シ協とハローワーク西宮、芦屋市シルバー主催で「シニア向け就活&終活セミナー」を開催しました（参加者50人）。
- ・兵シ協が実施する高齢者活躍人材育成事業に「傾聴はつらつ」グループを講師として各センター派遣しました。
- ・センター年会費の納入方法を見直し会員の利便性の向上、事務局の事務の軽減を図りました。